

2024.6.20 ステップアップスクール当仁研修会の報告

令和6年6月20日（木）19時分から令和6年年度当仁中学校（ステップアップスクール当仁）の「親の会」教育講演会を下記の通り実施しました。講師は、福岡こども短期大学 教授で、福岡市内の中学校でも長くスクールカウンセラーとして活躍されている武部愛子先生でした。前半は、スクールカウンセラーの視点からの子育てへのアドバイスや、今の子どもたちのとらえ方、発達障がいに向き合うかなど、講話をいただき、後半は先生に具体的な質疑応答で研修を深めることができました。

武部先生は福岡市の教育委員であるとともにその豊富な経験と分かりやすい解説で大変人気のある方です。福岡市のみならず各地での講演は「保護者の会」「人権講演」「民生委員や主任児童員研修」などで、子育てから発達障がいの理解など幅広いお話が聞けたと思っています。変化の激しい時代、従来の子どもに対する見方や接し方だけでは理解できないことが増えてきています。一人で悩まずみんなで考えていければと思っています。当日は氏家校長先生・教職員・学校関係者・保護者・地域・PTA関係などの参加者があり研修を深めることができました。



講演概要

- ・不登校の子どもは同年代が難しい。お互いの腹の探り合い。反応を見ながら押したり引いたりすることが必要。そのような作業が苦手な子が多い。異年齢は立場がはっきりしている所以对応がシンプル。どこかに所属していることが大切。異年齢集団でもよい。
- ・先生との付き合いもわが子の環境の一部だと思っている。人的環境をどのように作るか。
- ・保育園などでも先生が変わることはないので自分が変えられるところを考える。先生とうまくいかなくても先生に悪気はない。素材の一つとして、これから出会う一つの例として対応を学ぶチャンスととらえる。先生（他人）の考えと対応（自分がどうするか）を学ぶ。
- ・学校にいけないときは焦っても疲れるだけ。頑張ってもイライラするだけ。子どもが行かなくても家庭では平気である。家のほうがこれからずーと付き合いっていくのだから短時間で結果を出さなくてもよい。

・課題のある子どもは年少の時は①しっかりしているか②なごむかのどちらか。それが小2・3年になってくると①は自己中に②はずれていくなってくる。小4からは「ひきこもる」となってくる。

・大変なのは中学まで。高校はいろいろある。大人数の中で頑張るのはここまで。社会に出ると人は選べる。

・わからないときは人に聞く。ただし、聞く人を間違えないこと。自分の判断はずれているのだから失敗すると自信がなくなる。

・無理なものは無理。(本人にしかわからない)「だいじょうぶよ」のことは「わかってくれない」としか伝わらない。

・経験値は身につくので少しずつ発達する。不安は苦しい。安易な慰めはダメ。

「わからん」と言って来たら「わからないこと」を受け入れる「そっか」。必ず成長する。何とかなる。その時間は各自によって異なる。最後は子どもと笑顔で気持ち良く付き合っていく。本人なりの成長スピード。兄弟はバラバラではあるが何かしら共通するものがある。

・この子はこういくのだというサポーター感覚。周囲は本人の生きる道を支えるサポーター感覚。寄り道しても大丈夫という信頼関係を作る。

・ゲームをやめさせようとしてまともに叱っても無理。言うのだったら跳ね返ってきたときそこにいない。通りすがりに言いたいことを言って立ち去る。ぶつかり合わない。大切なのは本人が自分でゲームを切ること。そうでないと成長しない。

・スマホは週1充電のルール。使い方は本人が考える。

・いろいろなことを「自分で乗り越えてきた」ことを認めてあげる。自分の持っている力を拾って成長する。子どもは自分で解決策を持っている。「やれてるじゃない」のコミュニケーションをとっていく。

・子どもは小さい時はうまく表現できない。何度もやり取りをして成長する。

・子どもの反抗は自分探し(対人・自分の生き方など)で何があるのが普通。どのくらい認めて上げることができるかは家次第。言い出したら言わなくてもいいことまで言ってしまう。22歳まで思春期。そのまま大人になることはない。外でやれるならこれからも何とかなる。

・体験が大切。何を積んでもマイナスはない。それがあって今がある。毎日の積み上げを周囲が認めて上げる。

・「ほかの子は平気でできる」(比較)は言われたくない。

・学校の先生に必要なのは人間性だと思う。「生徒が言ってきたことを大切にしてほしい」子どもが自分で経験してきたことを話してくれる関係が大切。

・「子育ては球根を育てるのと似ている」もともと球根の中に入っている。精一杯この子をこの人らしく育てること。それ以上でもそれ以下でもない。「落ちてきたら救うよ」

保護者様

令和6年 5月 9日

福岡市立 当仁中学校
校長 氏家 修
ステップスクール当仁親の会
代表 合庭 さつき
代表 内田 富美子

「親の会」教育講演会のご案内

初夏の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

このたび、下記のように教育講演会を計画いたしました。講師は、福岡こども短期大学教授で、福岡市内の中学校で長くスクールカウンセラーとして活躍されている武部愛子先生です。スクールカウンセラーの視点からの子育てへのアドバイスや、今の子どもたちのとらえ方、発達障がいはどう向き合うかなど、お話ししていただくと共に、ひざを交えて日頃の悩みを出し合いながら助言をいただき、お互いに学習していこうと考えております。

なお、参加ご希望の方は、**6月13日(木)までに**下記の申込用紙を担任か、南田に提出（サポートルーム携帯 070-3204-4139）、又はこの用紙をそのまま当仁中（Fax092-761-7832）へ FAX して下さい。よろしくお願い致します。

記

- 日時 令和6年 6月20日(木) 18:30～受付
19:00～20:30
- 場所 福岡市立 当仁中学校 図書室
〒810-0066 福岡市中央区福浜2丁目7番1号
Tel 092-761-7831 Fax 092-761-7832
- 講師 福岡こども短期大学 教授 武部 愛子 先生
- 内容 ・スクールカウンセラーから見た子育て

切り取り線

〆切 6月13日

ステップスクール当仁「親の会」教育講演会 参加申込用紙

(Fax は 当仁中 092-761-7832 へ)

・6月20日(木)の教育講演会に参加します

参加者氏名

続柄

()

(お子さまの学年と氏名もお書き下さい。)

() 年

氏名